

SIMI

社会的インパクト評価イニシアチブ

Social Impact Measurement Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。
～12の目標と38のアクション～

社会的インパクト評価イニシアチブ 資金提供者WG

2017年6月29日

1. ロードマップ（社会的インパクト評価文化醸成）



*1「インパクトサイクル」：計画-実行-測定-レビューという事業運営のサイクルをまわすことによって、インパクトを拡大させる方法を特定する、改善方法を学習するなど
の便益が生み出される事業運営。

*2「インパクト志向原則」：インパクト志向のあり方をさまざまなステークホルダーへの適用を想定して簡潔かつ明確に記した文書

*3：例えば、ホームページ上での賛同を募り、その団体数により目標を達成したかを計ることができる

*4：例えば、認知度調査等において社会的インパクト評価の認知について尋ねる項目を設けることにより、認知度の程度を計ることができる。

2. 資金提供者WGが2017年度に目指すこと・やること

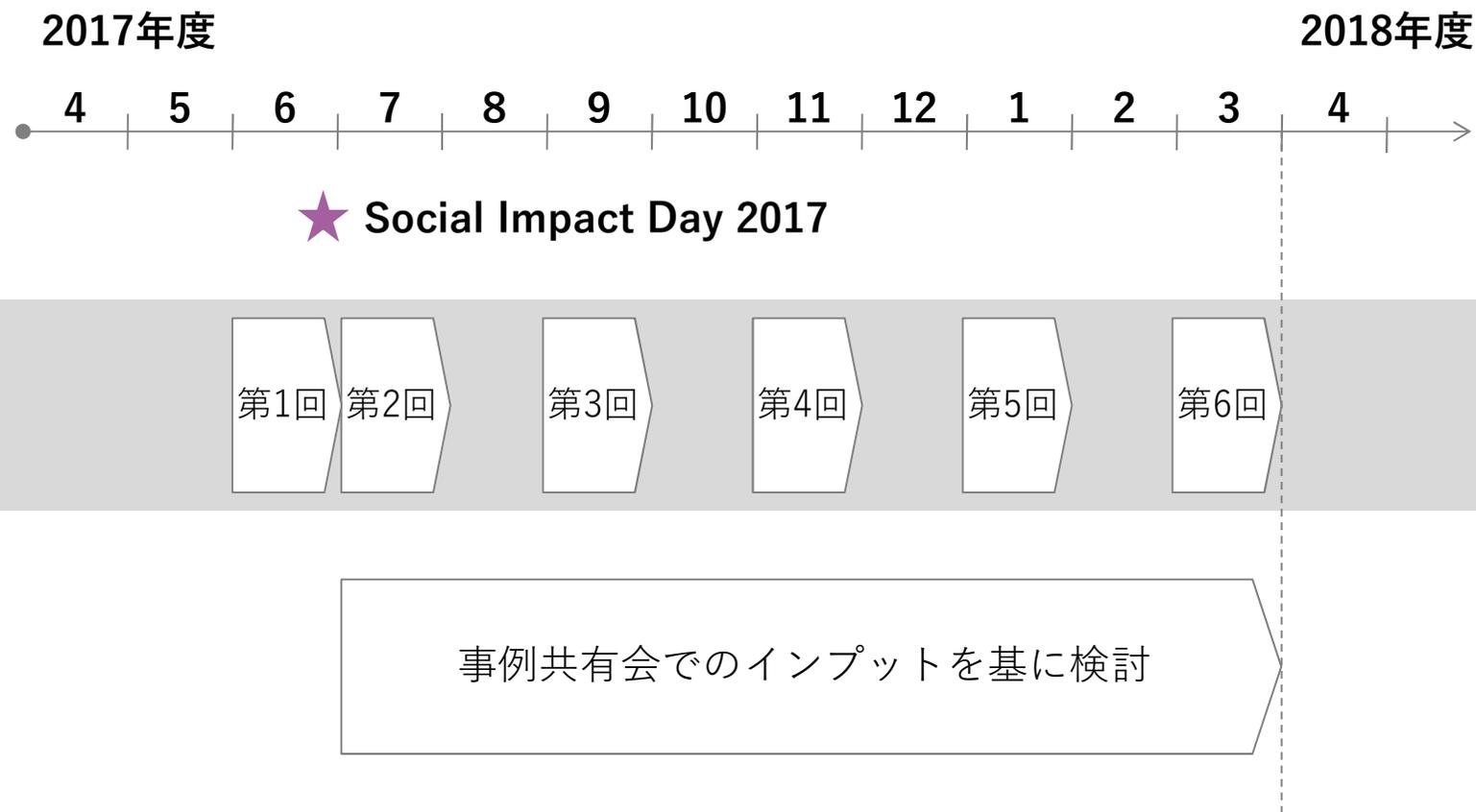
目指すこと

- 資金提供者にとっての「インパクト志向」のあり方の定義
- 「インパクト志向」に向けたアクションの検討・実施

やること

1. **WGメンバーによる事例共有会の定期的な実施**
 - 各資金提供者における審査/デューデリジェンス、事業管理、対外報告における社会的インパクト評価の実践事例を共有
2. **資金提供者にとっての「インパクト志向」のあり方の検討**
 - 上記事例共有会でのインプットを基に、資金提供者にとっての「インパクト志向」のあり方を検討
 - 「インパクト志向原則」策定への資金提供者WGとしての考えを提示するとともに、各組織がアクションを実施

3. 資金提供者WGのアクションプラン



4.資金提供者WGのコアメンバー

No.	氏名	所属
1	有井 安仁	一般社団法人全国コミュニティ財団協会
2	石崎 勇輝（オブザーバー）	株式会社日本政策金融公庫
3	加藤 剛	公益財団法人トヨタ財団
4	功能 聡子	ARUN合同会社
5	佐分利 応貴	公益財団法人笹川平和財団
6	高塚 清佳	新生企業投資株式会社インパクト投資チーム
7	高原 康次	一般財団法人KIBOW
8	土岐 三輪	特定非営利活動法人SVP東京
9	本城 宏行	独立行政法人環境再生保全機構（地球環境基金）
10	◎藤田 滋	公益財団法人日本財団
11	藤村 隆	特定非営利活動法人SVP東京

◎ WGリーダー